

学生の挑戦 – 第20回若年者ものづくり競技大会 –

2人で挑んだロボットソフト組込み、銅賞をつかみました！

電子情報技術科で学ぶ“ハード（電子回路）”と“ソフト（プログラム）”のスキルをもっと高めたいと思って、「ロボットソフト組込み」職種への挑戦を決めました。

この競技は2人1組のチーム戦です。私たちはハードとソフトの役割分担をして、5月から放課後に先生と一緒に、事前に公開された資料をもとに練習を始めました。

課題は全部で3つ。練習では、開発環境の違いでうまくいかなかったり、失敗したりもしましたが、これまでの授業で学んだことをベースに、2人で何度も試行錯誤。

先生の丁寧な指導とアドバイスのおかげで、制限時間内に3つの課題をクリアできるようにになりました。

大会当日は、ちょっとしたトラブルもあってドキドキでしたが、2人で協力して乗り越え、最後まで諦めずにやりきることができました！

結果は…銅賞！！

少し悔しさもありますが、私たちが積み重ねてきた努力はしっかり出し切れたと思います。

こんな挑戦の機会をくれた学校と、いつも支えてくれた先生に心から感謝しています。

ありがとうございました！

『ロボットソフト組込み』職種 銅賞

大和田 もえ さん
野上 圭登 さん

四国職業能力開発大学校
専門課程
電子情報技術科2年



競技大会で得た、かけがえのない経験！

競技大会に出て、ほんとにいろんな経験ができました！特に、失敗したりトラブルが起きたりしたときに、原因を探してどうやって解決するかを一緒に考えることができて、そういう力ってすごく大事なんだなって実感しました。（大和田さん）

チームで一緒に悩んで、話し合っ、乗り越えたからこそ、仲間のありがたさもすごく感じました。あきらめずに挑戦すること、支え合うことって、これからの仕事にもつながる大切なことだと思います。（野上さん）

この大会を通して、そんなことをたくさん学べました！

大和田さんと野上さんにとって、四国能開大とは！？

四国能開大は、私たちにとって“やりたい”が見つかる！そして、それを深く学べる！”そんな場所です。

先生たちは専門知識が豊富で、いつも学生に寄り添って、熱心にサポートしてくれます。

そのおかげで、私たちは自分の“やりたい”を見つけることができました！

そして、その“やりたい”をもっと深めるために、応用課程（生産電子情報システム技術科）への進学が決まっています。

ここからさらに学びを広げて、自分の可能性をもっともっと広げていきたいと思っています。



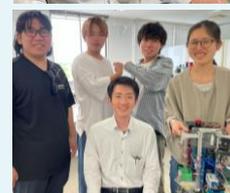
先生からのメッセージ 電子情報技術科 青木 翔

今年の4月末に「やってみたいと思います！」と伝えに来てくれたところから挑戦が始まりました。

野上さんは将来の志望職種に向け、ハードウェア技術を更に深めたい思いがあり、電子回路の設計・製作・基礎実験などに取り組み、およそ1か月で大会の仕様を満たすロボットを作り上げました。

大和田さんは自分が好きなプログラミングの技術力を伸ばしたい思いがあり、初めて使うプログラミング言語を一から勉強し、試行錯誤を繰り返しながらロボット制御を学びました。そして、大会直前には全競技課題のクリアを実現しました。

不安もあったと思いますが、授業ノートを片手に、お互いに助け合いながら取り組んで多くのことを学べたのではないかと思います。私も2人から学ぶことが多くあり、感謝しています。2人の頑張りが大会で評価され、とても嬉しいです。今後も目標を持って何事にも前向きに挑戦し続けてほしいと思います。ありがとうございました。



「ロボットソフト組込み」職種とは？

移動式ロボットの設計・製作・メンテナンス・プログラミング制御ができるスキルを競います。大会当日までに、事前公開された資料を参照しながらロボットの筐体、電子回路等のハードウェアを製作し、搭載したセンサ等の信号を活用しながらソフトウェアを制作します。大会当日、2名の選手が協力して競技課題の目的を達成するロボットを実現します。